

こんなことに気をつけよう

今年も、田植えの季節がやってきました。この季節は用水路に水がいっぱい流れるようになります。だから、つぎのことに十分気をつけて生活をするようにして下さい。

1. 水の事故について

水がないときの用水路に落ちてしまっても、ケガをするていどですむかもしれないけれど、今の時期は水がいっぱい流れているので、もし落ちてしまったらケガだけではすまなくなってしまう。だから、用水路の近くではぜったいに遊ばないようにしましょう

2. 「あぜ」や「せき」について

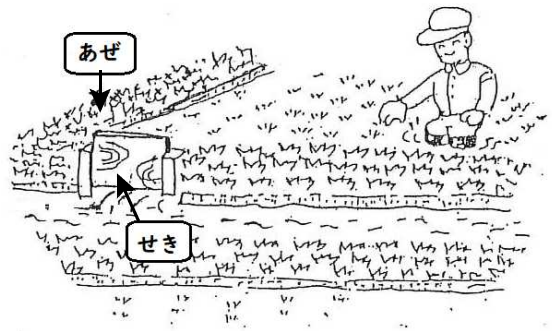
学校の行き帰りに、田のようすを見て気づいたことはありませんか。5月になると、田に水を入れて田植えの準備がはじまります。そのために、今農家の人たちは、肥料をやったり、田おこし、もみまきなどして、なえを育てています。

おいしいお米は「太陽と水と土」からできます。

田に入れる水は、農家の人がお金を出して買っています。また、田に入った水には、肥料がとけていて、なえが育つのによいのです。この大切な「水」と「土」を守っているのが「あぜ」です。

また、水を出し入れするための「せき」として小さな板を入れています。この「せき」をはずすと、せっかく入れた大切な水が流れてしまい、農家の人が大変こまります。

私たちが食べるお米を作っている農家の人にめいわくをかけないように、絶対に「せき」をさわったり、「あぜ」を歩いたりしないようにしましょう。



※このようなハンドル(せき)も勝手にまわさない

3. 田畑の作物を大切に

これからの時期、田畑の作物は芽がどんどん大きくなり、花を咲かせたり、実をつけたりし、成長していきます。そして、農家の人たちはとても大切な作物の収穫をします。それで田畑の中に入って、作物を引きぬいたり、ふみあらしたり、石を投げたりすると、農家の人たちは大変悲しい思いをします。

田畑に入ったり、石を投げ入れたり、作物を引きぬいたりしないようにしましょう。